

産業疲労研究会 第101回定例研究会

Work and Fatigue

Toward Improving Quality of Working Life

■プログラム

日時：2026年2月7日（土）13：00－15：30

会場：産業医科大学 産業生態科学研究所 東棟5476（4階）

住所：〒807-8555 福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

参加費：無料

■一般演題（13時から15時まで）【※1演題につき発表15分＋質疑応答5分】

【一般口演】 13：00～14：00

座長：松元俊（労働安全衛生総合研究所）

※発表20分/質疑5～10分

1. 疲労による就労者の経済損失の研究と早期対策の必要性

春木完堂（一般社団法人日本リカバリー協会）

※こちらの演題はWEBでの発表となります。

2. 因果効果を諦めるな！

-経済学における縦断調査の解析方法と疲労研究への応用可能性-

加島 遼平（労働安全衛生総合研究所）

— 休憩 —

■ワークショップ（15時から16時30分まで）

オープンダイアローグ形式を活用した座談会：産業疲労研究会のこれからを考える

司会：谷直道（産業医科大学）

特別講演：「産業疲労研究会のこれまでとこれから」

演者：久保智英（労働安全衛生総合研究所）

座談会：産業疲労研究会の世話を4名による座談会

座談会メンバー：久保智英、松元俊、松尾知明、榎原毅

■ワークショップ

オープンダイアローグ形式を活用した座談会：産業疲労研究会のこれからを考える

記念すべき第101回の定例研究会の特別企画として、新体制になった産業疲労研究会の世話人の久保智英氏、松元俊氏、松尾知明氏、榎原毅氏の4名による産業疲労研究会の「これまで」と「これから」を参加者とともに考える座談会を行います。座談会では、オープンダイアローグという新しいメンタルケアの新しい手法やフリップ形式、双方向コミュニケーションアプリ「Slido」などの新しいチャレンジングな試みを取り入れて企画しています。職場の疲労の問題はどんなに技術が発展したとしても常に古くて新しい問題として働く人々と共にあります。以下の4名の世話人と共に産業疲労の問題と対策を一緒に考えてみませんか？

世話人



久保智英

所属

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
産業保健研究グループ 上席研究員
(http://researchmap.jp/tomohide_kubo)

専門

労働者の疲労と睡眠、労働科学、産業保健心理学、職場の特性に応じたオーダーメイドの疲労対策、勤務間インターバル、つながらない権利、レスタビリティ(休む力)



松元俊

所属

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
産業保健研究グループ 主任研究員
(<https://researchmap.jp/read0075507>)

専門

労働科学、人間工学、不規則勤務者(特にトラックドライバー、看護師)の疲労問題



松尾知明

所属

(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所
人間工学研究グループ 上席研究員
(<https://researchmap.jp/matsuotomoaki>)

専門

体力科学、身体的体力、精神的体力、Cardiorespiratory fitness (CRF)
身体活動、健康経営



榎原毅

所属

産業医科大学 産業生態科学研究所 人間工学研究室 教授
(https://researchmap.jp/takeshi_ebara/)

専門

産業保健人間工学(作業関連運動器疾患予防策)、ビッグデータを利用したライフログ解析の産業保健応用など。デジタルヘルス・テクノロジー(スマホ内蔵センサー やウエアラブルセンサーほか)を活用したライフログビッグデータを収集・解析し、最先端技術の両義性を解決するための研究